



日時 2023年9月23日(土) 13:00開場 13:30より上映
日本語字幕入りで上映します

ところ サウンドハウスホール(小松島市小松島町字新港9-10)

入場料 無料

お問い合わせ 小松島市教育委員会生涯学習課人権教育推進室

TEL 0885-32-3814 FAX 0885-33-1230

なぜ自分の故郷を語れない。
なぜ好きな人に気持ちを伝えることができない。



◎ 物語 ◎

瀬川丑松(岡宮祥太郎)は、自分が被差別部落出身ということを知り、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼はその出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性・志保(石井杏奈)との恋に心を焦がしていた。同僚教師・銀之助(矢本悠馬)の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も指され始める。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎(眞島秀和)に傾倒していく。丑松は「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を受けるが、猪子は政敵の放った弾丸に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立つとする。

過去に木下恵介監督、市川崑監督と名だたる巨匠が映画化してきた島崎藤村・不朽の名作「破戒」を2022年の今年、旬なキャストで映画化。主演・丑松を務めるのは、近年、映画やドラマで多彩な活躍が目覚ましい岡宮祥太郎。自らの出自に悩み続け、最後に、ある告白をする難役を気迫のこもった芝居で表現。相手役・志保を演じるのは若手女優の中でも特に演技への評価が高い石井杏奈。丑松の親友・銀之助役に、出演作のオフアが相次ぐ矢本悠馬。ほか眞島秀和、高橋和也、竹中直人、本田博太郎、田中要次、石橋蓮司、大東駿介、小林綾子など名優たちが顔をそろえ、クオリティの高いドラマを作り上げている。脚本は「クライマーズ・ハイ」「孤高のメス」で数々の受賞歴を誇る加藤正人と「バトル・ロワイアル」「鎮魂歌」の木田紀生が担当。監督は権名格平主演の映画「発熱天使」(高崎映画祭招待作品)の前田和男。



<http://hakai-movie.com/> @hakai_movie @hakaимovie



当日は会場周辺で「小松島みなとマルシェ」が開催され、混雑が予想されます。また、駐車場(ホール前・市立図書館・北小松島公民館)の数にも限りがありますので、お車の乗り合わせや、公共交通機関の利用にご協力ください。